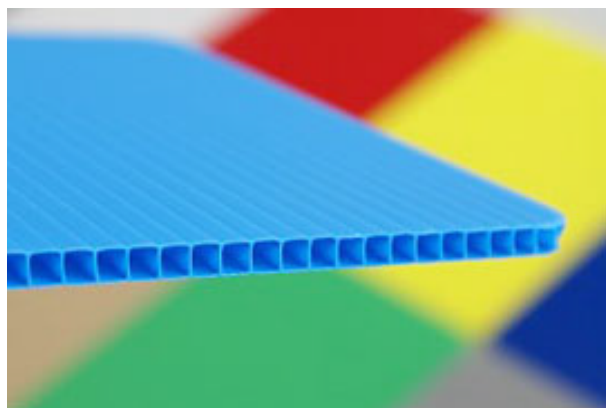


プラダンについて

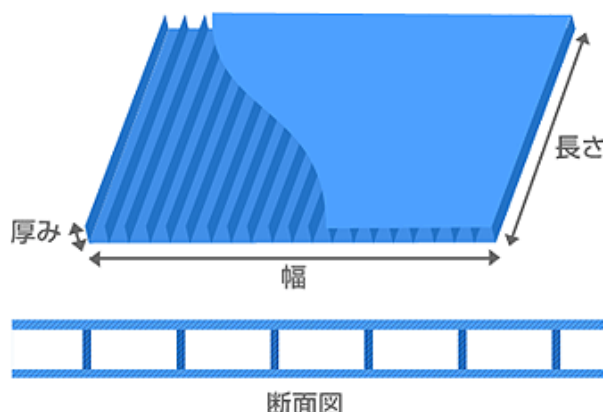
段ボール状の中空構造により軽さと強度を両立した、樹脂製の板材です。



プラダン（段プラ）とは「プラスチックダンボール」の略称で、ポリプロピレン樹脂（PP）を原材料として製造された板状の素材です。

紙製の段ボールに似た中空構造と、プラスチックならではの耐久性・耐水性・断熱性・耐薬性を併せ持っているため、軽量かつ丈夫で、繰り返し長く使用できるのが特徴です。

プラダン（段プラ）の構造



プラスチック製の中芯とライナーで構成され、一体押出成形という製造方法により、断面がハーモニカ状の中空構造になっています。等間隔に並んだ柱（リブ）の両端が、板表面（ライナー）で挟まれているようなイメージです。中身の詰まったプラスチック板に比べて非常に軽く、割れにくくなっています。

プラダンの種類

1 m²当たりの重さ / 目付

厚み (mm)						
1.5mm	2mm	2.5mm		3mm		
						
目付 (g)	目付 (g)	目付 (g)		目付 (g)		
250 g	300 g	300 g	700 g	400 g	500 g	900 g
厚み (mm)						
4mm	5mm	6mm		7mm		
						
目付 (g)	目付 (g)	目付 (g)		目付 (g)		
600 g	700 g	800 g	1000 g	1200 g	1600 g	1700 g

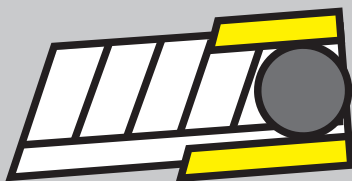
※その他、特殊で9mm以上の厚みのあるものもあります。

軽い



中空構造を持つことから、同じ厚さのプラスチックの一枚板よりも軽いというメリットがあります。

加工しやすい



カッターなどで容易に切断できるという特性があります。熱を加えて溶着しやすく、気軽に成型しやすい点もメリットの1つです。

費用対効果が高い



プラダンは紙製のダンボールよりも単価が高めですが、耐久性が高く繰り返し使用できるため費用対効果の高い点が魅力です。

環境に優しい



耐久性があり長期間リユースできます。リユースでとってもエコロジー

プラダンの
強み!



ヒンジ耐性



高い耐久性があり、ヒンジ（折り曲げ）耐性もあるため、高頻度の繰り返し使用にも耐えられる素材です。

耐熱性



可塑性（かそせい）のあるプラスチックの中では、比較的高い耐熱性を持っています。

耐水性



吸水性が僅か0.03%なので、水に濡れても紙や木のように劣化しません。

耐薬性



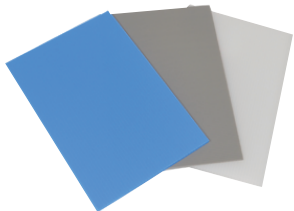
特に対アルカリ性に優れており、対酸性・対溶剤性も優れています。

静電気対策・クリーンルームでも使用可能！

静電対策用プラダンとして導電性プラダン（106Ω以下）と持続性帯電防止プラダン（1011～13Ω以下）導電性緩衝材を用意しております。導電性、持続性帯電防止のプラダンシート（静電対策）を用いることで、帯電しにくく、静電気を帯びにくい箱を作ることができます。

プラダン使用例

養生シート



家具や機材の移動の際に、壁や床を保護します。

通い箱 ①



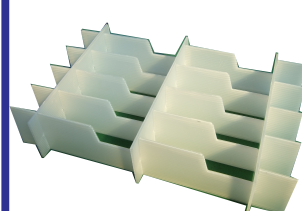
工場や事業所等の拠点間で荷物を運ぶ際に使用します。

通い箱 ②



精密機器や機材・書類・商品などを保管又は運搬する箱

内材



製品にあった仕切等内材に